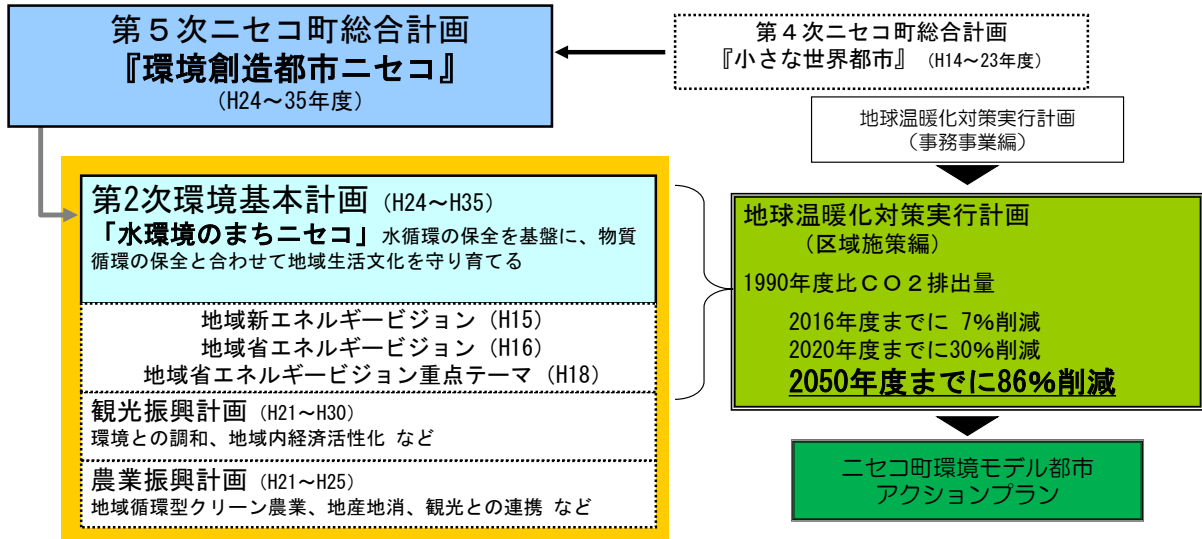


ニセコ町環境モデル都市アクションプランについて

1. 環境政策の推進体系と主なエネルギー関係の取組み経過

まちづくり基本条例（平成13年4月施行）
 環境基本条例（平成16年4月施行）
 景観条例（平成16年10月施行）
 地下水保全条例、水道水源保護条例（平成23年5月施行）



環境政策の推進体系図

(主なエネルギー関係の取組み経過)

- H15 年度 新エネルギービジョン策定
- H16 年度 省エネルギービジョン、省エネルギービジョン重点テーマ策定
- H22 年度 緑の分権改革調査事業「自然エネルギー賦存量調査及びクリーンエネルギー実証実験」
- H23 年度 緑の分権改革調査事業「自然エネルギー活用事業化検討及び実証調査」
- H23 年度 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
 マイクロ水力発電可能性調査
 ニセコ高校エアハウス地中熱利用による通年型農業の確立調査
 リゾート地区におけるスマートコミュニティ構想普及支援事業
- H24 年度 昆布岳における風力発電実証可能性調査（民間事業者主体）
- H25 年度 綺羅乃湯への木質バイオマスボイラー導入実証可能性調査
- H25～26 年度 ニセコ・蘭越地区地熱利活用検討協議会参画
- H26 年度 風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業（環境省主体）

2. 環境モデル都市アクションプラン概要

平成26年3月に全国で23番目に環境モデル都市に選定されたことを受け、内閣府より平成26年度から平成30年度までのアクションプラン（行動計画）策定を求められ、次ページ構成員による「アクションプラン作成検討会議」を4回開催し、意見をいただきながら作成したもの。

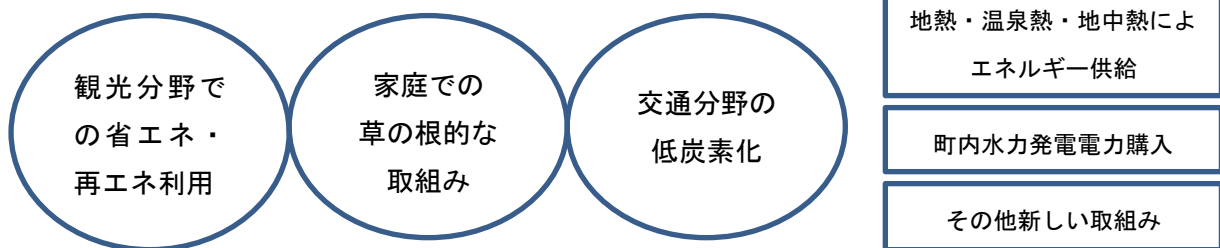
ニセコ町環境モデル都市アクションプラン作成検討会議委員名簿

氏名	所属	備考
吉田 文和	北海道大学大学院経済学研究科	座長
松田 裕子	ニセコ町商工会	副座長
本間 泰則	羊蹄グリーンビジネス株式会社	
猪狩 和大	農業青年会	
黒滝 博	鶴雅観光開発	
新谷 志織	カフェこむぎ野	
今野 一彦	(一社)ニセコスポーツツーリズム	
田中 富美江	ニセコメッカ自然ガイド	
片山 健也	ニセコ町長	
前原 功治	ニセコ町役場商工観光課	

(目次) パンフレット参照

- 1 全体構想 温室効果ガスの排出実態、削減目標、削減目標達成のための考え方
- 2 取組内容
 - ①熱分野を中心とした低炭素なまちづくり
 - ②持続可能な観光の推進
 - ③観光と環境の横断的な取り組み
 - ④町民生活における省エネ及び再生可能エネルギーの普及
 - ⑤農業や産業における再生可能エネルギーの普及
 - ⑥スマートコミュニティ・ニセコの実現
- 3 取組体制 行政機関内、地域住民等、大学、地元企業との連携体制

(CO2 削減に向けて重点的に取り組む内容)



3. 平成26～30年度（5年間）の取組みスケジュール

取組方針	取組み内容		各年度の取組み					CO2削減量
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	t-CO2
①熱分野を中心とした低炭素なまちづくり	温泉排水や温泉熱利用の促進	計画		1施設	3施設	4施設	4施設	2,771
	公共施設への再生可能エネルギー導入	実績	1施設					
		計画	町民センターほか5施設地中熱HP導入済み、街路灯LED化済み	学童保育、中央倉庫郡交流センター太陽光発電	高校体育館、幼児センター太陽光発電	プール太陽光発電	役場地中熱HP、太陽光発電	103
実績		学童クラブ地中熱HP、環境省GPP省エネ・再エネ調査申請中					132	
②持続可能な観光の推進	観光客の交通の低炭素化	計画	観光方法の低炭素化(低公害車4台/年相当削減)					3
		実績		EduVacationプログラム検討				
③観光と環境の横断的な取組み	観光事業者へのCO2削減支援及びCO2排出抑制	計画	情報収集	支援	CO2排出抑制方法検討	CO2排出抑制試行		3,756
		実績	補助金説明会	大型観光ホテル数施設のLED化、環境省GPP省エネ・再エネ調査申請中				
④町民生活における省エネ・再エネ普及	草の根の取組み・交通の低炭素化	計画		地域内交通の低炭素化・効率化、家庭の省エネ				2,684
		実績	デマンドバス導入済み	町内3電気店合同プレミアム商品券相乗り企画(省エネ家電)／家庭へのアンケート調査(北海道環境財団と共同事業)				
⑤農業や産業における再エネ普及	雪氷熱倉庫・雪室等の導入	計画	米倉庫導入済み	根菜倉庫1件	農業の省エネ・再エネ化、根菜倉庫2件、米倉庫1件/年相当			276
		実績						122
⑥スマートコミュニティ・ニセコの実現	駅前再開発に伴う地域熱供給(地熱・温泉熱・地中熱)	計画	情報収集	情報収集、地元説明、地表調査				-
		実績		JOGMEC(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)による地表調査、業者との連絡会				
	エネルギー転換(水力発電・地熱発電など)	計画	情報収集	電力購入交渉	電力購入手続き	電力購入		2,300
		実績	情報収集	電力購入交渉	一部公共施設の町内水力発電からの電力購入開始予定			
					合計	計画	11,893	
						実績	254	

4. CO2 削減量調査案

(1) 調査目的

ニセコ町では CO2 排出量を 1990 年度比で 2050 年度までに 86%削減することを目標に環境モデル都市アクションプランを進めていくとしているが、2011 年度では推計で 28.3%増となっている。CO2 削減目標の達成のために実際の CO2 排出量及び省エネ・再エネ導入による CO2 削減量を調査する。

(2) 調査対象

民生業務（公共施設、大規模観光事業者）、民生家庭（一般家庭）、運輸

(3) 調査方法

民生業務 (第三次産業)	大規模観光事業者（昨年度ヒアリングした 13 施設）については担当者へのヒアリング。公共施設は毎年のエネルギー消費量実態調査。
民生家庭	北海道環境財団と共同で 300 世帯へのアンケート（郵送）
運輸 (輸送・運搬)	公用車は毎年把握済み。大規模観光事業者はヒアリング、一般家庭は北海道環境財団アンケートに車の所有と利用状況の設問を入れる予定。

(4) 調査内容

大規模観光事業者向け	家庭向け
<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2 排出実態を使用電力・熱源及び消費量から推計（→平成 21 年度調査との比較による CO2 削減量推計） ・ 温泉湧出温度、温泉湧出量、排水量、温泉熱の活用実態（昨年度ヒアリング済、確認） ・ 省エネ・再エネの取組み（昨年度ヒアリング済、確認） ・ CO2 削減のための施策に反映できるような潜在的ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2 排出実態を使用電力・熱源及び使用料金（季節ごと）から推計（家庭エコ診断のロジック活用）（→平成 21 年度調査との比較による CO2 削減量推計） ・ 冷蔵庫・照明及び車の所有状況と使用実態など ・ 省エネ・再エネの取組みの変容（→平成 21 年度調査との比較による CO2 削減量推計） ・ CO2 削減のための施策に反映できるような潜在的ニーズ

(5) スケジュール

大規模観光事業者向け	家庭向け
8 月 調査内容の調整、アポイントとり	7 月 調査内容の調整、調査対象者抽出
9 月 ヒアリング	8 月 調査票送付
10 月 調査結果とりまとめ	9 月～10 月 調査結果とりまとめ